

病院給食での賞味期限を過ぎたドレッシングの提供について

12月16日（火）、病院給食（朝食）で、賞味期限切れのドレッシング（賞味期限：令和7年12月7日）が提供対象者44名中、40食分で提供されていたことが判明しました。12月25日（木）時点で、患者さんの健康被害の報告はありません。

この度は、患者さんをはじめご家族様、関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

【経過】

- 12月16日（火）の朝食に添えられた個別包装のサラダ用ドレッシングが賞味期限の12月7日を過ぎている、という指摘が患者さんからありました。
- 調査の結果、ドレッシングの提供対象者44名中、賞味期限に問題のなかったことを確認出来た患者さん1名を除く、賞味期限切れドレッシングを提供した可能性のある43名について説明と謝罪を行うとともに、体調に変化があったときなどは申し出ていただくよう依頼しました。
- 所管の京都府山城北保健所に12月16日（火）に報告しました。

【原因】

- ① 食品保管庫内の賞味期限切れ食品の確認が不十分でした。
- ② 食品保管庫から持ち出す際、賞味期限の確認が不十分でした。
- ③ 大袋開封時における賞味期限の再確認が徹底されていませんでした。

【再発防止策】

- 食品保管庫内の在庫食品について、毎月最後の週に賞味期限の確認を行い、1ヶ月以内に賞味期限切れとなる食品には注意喚起の貼紙をすることにより、一目で認識できるようにしております。
- 賞味期限について、給食委託業者が確認後、栄養管理室においてもダブルチェックを行っております。
- 食品の出庫時及び開封時には、賞味期限の再確認を徹底しております。

令和7年12月26日

独立行政法人国立病院機構南京都病院 院長 徳永 修

問い合わせ先：独立行政法人国立病院機構 南京都病院 管理課長

電話番号：0774-52-0065